

平成 21 年 3 月 19 日

各 位

会社名 株式会社北都銀行
代表者名 取締役頭取 斉藤 永吉

経営統合日程の変更と共同持株会社の社名決定のお知らせ、 並びに資本増強に向けた検討開始について

株式会社北都銀行（以下「当行」）と株式会社荘内銀行（以下「荘内銀行」）は、平成 22 年 4 月を目処として共同持株会社設立を通じた両行の経営統合の実現を目指していくことを前提に、平成 20 年 8 月 8 日付で資本提携の最終協定書を締結しておりますが、この度、経営統合の時期を、平成 21 年 10 月に前倒しすることに合意し、あわせて共同持株会社の社名も決定いたしましたので、お知らせいたします。

また、「金融機能の強化のための特別措置に関する法律（以下「金融機能強化法」）」に基づく国の資本参加（以下「公的資金の申請」）の検討、並びに民間投資家による資本参加の検討に着手することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

I. 経営統合日程の変更について

1. 経営統合日程の変更理由

当行と荘内銀行は、平成 22 年 4 月に経営統合を行うべく、両行経営陣の間で共同戦略会議を設置すると共に、その下部機関として 11 の部会を組織し、両行での取り組みを随時検討してまいりました。

これまでの両行間における検討及び取組状況を踏まえた結果、当初予定していた日程を半年前倒し、経営統合によるシナジー効果を早期に実現することが、両行の企業価値向上に資すると判断し、両行間で日程を変更することについて合意いたしました。

2. 経営統合のスケジュール

経営統合に関する諸条件及びスケジュールに関しては、機関決定し次第、平成 21 年 5 月中旬を目処に公表する予定です。

Ⅱ. 共同持株会社の社名について

1. 持株会社商号

フィデア ホールディングス 株式会社
(FIDEA Holdings Co.Ltd.)

2. 社名決定の経緯

1月27日から2月10日までの間、両行グループの役職員から公募いたしました。合わせて1,000件を超える候補の中から絞り込み、専門家の意見など踏まえ、社名を決定いたしました。

ラテン語で「信頼」を意味する“FIDES”と“Alliance”を組み合わせることで、「信頼で結ばれ、地域と共に繁栄する金融グループ」を作り上げたい、という意志を表しています。

Ⅲ. 資本増強に向けた検討開始について

1. 資本増強を検討する目的

現時点において、当行は銀行法等で求められる水準を大きく上回る自己資本比率を維持しております。

しかしながら、長引く金融環境の低迷や実体経済の悪化に立ち向かい、真に地域経済活性化のお役に立つためには、予防的な資本増強が必要であると判断いたしました。

資本増強による財務基盤の強化を経て、地域金融機関としての使命である中小企業をはじめとしたお取引先への安定的かつ円滑な資金供給を継続・強化すると共に、地域のお客さまにとって無くてはならない金融グループとなるべく、早期に経営統合を実現し、企業価値の向上に努めて参りたいと考えております。

2. 資本増強の具体的条件

資本増強の引受先、発行する証券の設計、金額等の資本増強の具体的条件については、現在検討中です。決定後公表いたします。

3. 資本増強のスケジュール

平成21年6月下旬に開催予定の定時株主総会にて、資本増強に際して必要となる株主承認を受けることを前提に検討を進めております。詳細に関しては、決定後公表いたします。

以上